

高知新聞 7月24日(金)、9月11日(金)に「中学校特派員だより」に掲載されました。紹介記事をお知らせします。掲載おめでとうございます。本校では、授業や行事などを通して、いろいろな視点から考えたことを投稿しています。2学期も学校生活や自分自身のこと、将来のことややってみたいことなどいろいろと考えたことを投稿していきましょう。

中学校特派員だより

〈高知新聞 7月24日(金)〉

一番苦手な1週間

★四万十市・後川中★

長く感じる1週間。それが期末テスト週間だ。中学生の誰もが一度は、いやだと思ったことはないだろうか。

僕は期末テスト週間が、学校のテストの中で一番苦手だ。毎回9教科(国語・数学・理科・社会・英語・音楽・技術・家庭科・保健)。これを1週間でかんぱきにしなくてはならない。自分なりに勉強をしているつもりでも、いざテストになると、あまりいい点数が取れない。特に数学、社会、英語の点数が取れない。

期末テストを6回も受けているのどうしてだろう。学年が上がっていくにつれて、勉強はむずかしくなっていく。分からなかったところに、また分からなかったことが重なる。そんなところが期末テストに出ると、あまりのむずかしさに僕はペンが止まってしま

う。今年には高校受験もある。あと半年。勉強しているのに点数が取れないということは、何か変えていく必要がある。この半年で、自分に合った勉強法を見つけていこうと思う。(3年、山本諒特派員)

大変だった期末テスト!

〈高知新聞 9月11日(金)〉

みんなで「良心」の灯

★四万十市・後川中★

7月、全校生徒10人と先生たちでライトアップの夏祭りを行いました。

新型コロナウイルスで毎年やっていた食べ物の販売ができないため、遊びを提供する出店をよりました。1年生はスライム作り、2年生はスーパーパーイルすくい、3年生は射的でした。

出店をする機会なんてなかなかありません。初めてやって、地域の人たちがたくさん来て楽しんでくれていました。私は、接客をする時に子どもが多かったので、優しくゆっくり声をかけることを意識しました。

最後にろうそくを並べて、「良心」の文字を浮かび上がらせました。皆さん、見てくれました。並べるのは大変だったけど、すごくきれいにできていたので、やってよかったです。

このライトアップは、日ごろからお世話になっている地域の人たちに感謝の思いを伝えようと始まりました。今年で6回目です。

3年生が、今年が一番盛り上がった」と言っていました。来年度で、学校は最後の年。ライトアップも最後なので、一番盛り上がるよう頑張ります。(2年、橋本遥、1年、威能実智特派員)

コロナの夏でも思い出

